

## 本町二丁目屋台蔵(ほんちょうにちょうめやたいぐら)

この蔵は、明治21年(1888)に、本町二丁目の買継商書上商店11代書上文左衛門により建築された蔵であると言われています。その後、代々、書上家がこの蔵を所有し、本町二丁目町会の屋台蔵として借用し管理されてきましたが、昭和35年(1960)、地域に必要な蔵として町会に寄贈されました。



## 根本山道標(ねもとさんどうひょう)

江戸時代、梅田町の根本神社はその信仰により多くの参詣人を集めました。安政6年(1859)に出された「根本参詣ひとり案内」なるガイドブックには、本町二丁目「休所・宮川」が掲載され、当時の様子がうかがえます。その根本山への道程を記した道標(どうひょう・みちしるべ)がこの地域に残されており、そこには「これより／道のり／五里／九丁」と刻まれています。

